

「日本で最も美しい村」
連合の昭和村

昭和村ボランティアガイドの会

事務局長 島田 民夫

この連合組織は、平成十七年十月、北海道美瑛町長の呼びかけで、七か町村で発足した。昭和村は、平成二十一年十月に関東で初めて、全国で二十一番目に加盟し活動を行っている。

「日本で最も美しい村」連合とは、美しい町や村や地区が、「日本で最も美しい村」を宣言することで、郷土に誇りを持ち地域の活性化を推進することを支援する団体である。なかでも、長い年月の営みにより形成された景観・環境や地域の伝統文化を保護育成し、これらを活用して、地域資源の保護、地域経済の発展に寄与することを目的としている。昭和村が認定されたのは、「河岸段丘と農村風景」そして「歴史を残す養蚕農家の家並と横井戸」の二つの資源が評価された。

本村は日本有数の高原野菜の産地で、こんにゃく芋の生産は日本一を誇っている。

こうしたことから近年では「やさしい王国昭和村」として、主に京浜方面に新鮮な高原野菜を出荷している。また、赤城高原で見る三国、谷川、武尊山の眺望は実に美しく爽快なパノラマである。



伝統文化では永井箱根神社の祭典で「太々神楽」が奉納される。今年四月二十一日に行われ、村内外の方々が舞の様子をカメラに納めていた。フォトコンテストも現在9回を数え、ファン確保に尽力している。子どもたち中心の行事では百万遍、どんと焼き、つつかけ万灯がある。

村づくり協力委員会、婦人会等の各種団体の協力により、村内主要道路脇の空き地に季節の花が植えられ、村を訪れる人々の目を和ませてくれている。また、河岸段丘部分についても村や各区が連携し雑木、竹を伐採し美しい昭和村をつくっていることは誠に素晴らしいことである。



地域包括支援センターだより

地域にとって大切な場所、サロンの活性化を目指して！

～第12回きずなサポーター会議(4月26日)の報告～

ふれあいいきいきサロンの支え手が集まる「きずなサポーター会議」も今年で3年目を迎えました。登録サロン数は32サロン、登録きずなサポーター数は103名となり、今年度もたくさんの方に支え手として活動していただけることになりました。

今年度は、きずなサポーターのためのおそろいのバッグを作成し、全員に配付しました。みなさんから「かわいいデザインでいいわね」と感想をいただきました。これからもみなさんとともにサロン活動を盛り上げていきたいと思えます。

また今年3月から、新たに「赤谷きずなサロン」が開設しました。きずなサポーターの中澤磨智子さんより、手作りのかわいいサロンのチラシが紹介されました。

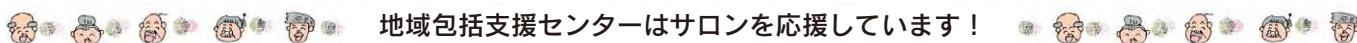
会議の後半は、「ながいサロン」の藤井君枝さん、「森

下筋トレ部会」の須田善子さん、「生越つばめの会」の橘ヒロさんによる、体と頭を使ったレクリエーションをして楽しみました。



レクリエーションを楽しむきずなサポーターのみなさん

次回きずなサポーター会議は、6月28日(金)午前9時30分より 地域活性化センター



地域包括支援センターはサロンを応援しています！

道路・側溝の 確認をお願いします

■問合せ 建設課整備係 ☎24-5111 (内線161)

梅雨の時期が迫ってきましたが、皆さんの家や畑の周りの道路・側溝は詰まっていますか。道路に物が置いてあったり側溝が詰まっていると、雨の多いこの時期、おもわぬ災害に発展する恐れがあります。

まずは点検・清掃を お願いします

まとまった雨が降る梅雨の季節、側溝から雨水があふれ道路に流れている――。

こんな状況が起こる前に、まずは身の周りの道路を点検し、側溝などの状況を確認することが大切です。

村では、道路状況などを確認し清掃を行っていますが、全ての道路・側溝を清掃することはできません。

まずはご自分の家や畑などに接する道路や側溝の清掃をお願いします。

もし、個人で手に負えない場合には、各区の区長さん・班長さん等に相談し、地域での対応をお願いします。

畑の作り出しは やめましょう

畑に隣接する側溝が詰まっていると、雨水の逃げ道がなくなり、畑の土砂が流されるなどの災害が起きやすくなるため、普段からの清掃が欠かせません。

特に注意が必要なのは、赤城西麓土地改良事業で整備された道路です。この道路のほと

んどは水路を兼ねていますが、この水路を兼ねた道路の上まで耕作している箇所が見受けられます。道路に畑の土砂が出ていると、雨水などと混じり下流の側溝に流れ込んで詰まりの原因となり、他の耕作者や道路利用者に迷惑がかかってしまう恐れがあります。

危険と見受けられる場合は、土砂を撤去し作物に影響を与える可能性もありますので、お含みおきください。

廃マルチは 片付けてください

側溝を詰まらせるのは土砂だけではなくありません。畑や道路脇に置かれたゴミが側溝に流れ込んで詰まりの原因になることがよくあります。

特に注意が必要なのが、道路脇やガードレールに置かれた、廃マルチなどです。集中的な雨が降り、これらが道路や側溝に流れ込むと、思わぬ災害を引き起こしたり、災害を大きくしてしまう恐れがあります。

廃マルチはJAなどで行う回収により適正に処理し、道路脇やガードレールに置かないようご協力をお願いします。

道路に張り出している 樹木も危険です

宅地内や山林等から道路へ張りだしている樹木は、枝の落下や倒木の危険性が高くなっています。これらが側溝をふさいでしまい、詰まりの原因になることもあります。

また、道路に張り出している樹木は歩行者や通行車両の事故につながる恐れもあります。樹木の所有者が責任を問われる場合もありますので、枝払いや伐採等を行い適切な措置を講じてください。

皆さんの協力が 不可欠です

道路は私たちの生活にかかせない大切な施設です。梅雨時期や集中豪雨が発生する夏季は特に村内全域の道路・側溝を確認する必要がありますので、皆さん一人ひとりの協力をいただくことが不可欠です。

災害が起こってしまう前に、周りの道路の状況を確認し、側溝の清掃や道路沿いに物を置かないなど、ご協力をお願いします。